

母と子のにわ

—利用者のみなさまと母子医療センターをつなぐ—



発行

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター



第25号

2010 Autumn

目次:

府民公開講座 I 「きっずセミナー ～心臓手術を体験して みよう～」	1
フィギュアスケート 織田選手来院	3
府民公開講座 II 第6回光明池セミナー 「こどもの腎臓病」	3
いま研究所では —その2—	4
センターからのお知らせ	4

府民公開講座 I

「きっずセミナー ～心臓手術を体験してみよう～」

昔は近くに田んぼなんかがあって、学校の帰りにカエルを捕まえてひっくり返してお腹をマッサージしたら、麻酔が効いたようにじっとして動かなくなるなんてことを経験したものでした。学校の理科の時間にはカエルの解剖があって、それはそれは強烈な印象でした。でも最近の子どもたちは、このような経験をすることが少なくなったと聞きます。

私たちは、子どもたちに心臓のことをもっと知ってもらおう、本物の心臓を手にとって、本物の手術器具を使って手術までやってもらおうと計画し、今年の夏休みの8月21日（土）に、府民公開講座「きっずセミナー ～心臓手術を体験してみよう～」を開催しました。

「心臓の音を聴いてみよう」コーナーでは本物の聴診器で心臓の音を聴き、「体の中の酸素の値を測ってみよう」では血液中の酸素飽和度の測定をやってもらいました。また「超音波でからだをみてみよう」では、実際にエコーの器械を手にとってもらってお友達の心臓が動くのを見たり、自分の体の中を技師さんや先生に見せてもらったりして大変好評でした。「放射線検査って知ってる？」では、自分でCT検査の画像を作ったりして体の断面を見てもらいました。「AEDで救命救急！」では、心臓マッサージを実際にやってもらったり、AED（徐細動器）の使い方なんかを体験してもらいました。また「人工心肺ってなあに？」では、実際の心臓手術に使う人工心肺装置を見てもらいました。

最も人気があったのは、やはり「豚の心臓を使った手術の体験！」でした。心臓の解剖を勉強し、切り開いた心臓は元通りにきれいに縫ってもらい、本物の人工血管を使って血管吻合も体験してもらいました。小学生、中学生のお友達を中心にやってもらいましたが、みんなとても上手で、「子どもの眼ってこんなに輝くんだ！」というところを見せてもらいました。「ゲームなんかやめて明日から勉強してお医者さんになるんだ！」という子もいたりして、みんなで一緒に写真を撮り楽しい1日を過ごしました。

ボランティアで参加してくださった医師、看護師の皆さん、放射線科の技師さん、臨床工学士の方、それに看護学校の学生さんたち、どうもありがとうございました。たくさんの応募があったので、抽選にもれて参加できなかったお友達がたくさんおられます。今後また機会がありましたら、ぜひこのような催しをやりたいと思います。ぜひ参加してください。

(病院長 岸本 英文)



府民公開講座

きっずセミナー ～心臓手術を体験してみよう～

応募総数136グループ373人。抽選の末、72グループ210人が参加されました。参加したみなさまから「すごく楽しかった」「貴重な体験ができた」「また参加したい」などなど、ウレシイ声が続々と届きました。また、機会があれば、是非開催したいと思います。

きっずセミナーにご応募・ご参加ありがとうございました。



8月21日に開催しました。
大盛況でした！
少しだけですが、当日の様子を紹介しまーす♪



今から
はじめます。
みんな、楽し
んでね♪
by病院長



心臓手術体験



心臓の音を聴いてみよう



放射線検査って知ってる？



人工心肺ってなあに？



AEDで救命救急！



超音波でからだをみてみよう



頑張ったよ！

今回の府民公開講座は、神奈川県立こども医療センターで以前から行われている「ハートキッズセミナー」を参考に開催させていただきました。当日来院してご指導いただいた、神奈川県立こども医療センター循環器科宮田大揮先生、看護師権守礼美さん、どうもありがとうございました。

フィギュアスケート 織田信成選手来院！



7月7日、七夕の日に、フィギュアスケートのバンクーバーオリンピック代表、織田信成選手が、コーチであるお母さんと一緒に当センターを訪問してくださいました。

時間のある限り精力的に多くの病棟を回り、患者さん・お母さん方・妊婦さんたちと本当に近くで触れ合っていたことができました。ある病棟では、ここでジャンプして見せてください、という（とんでもない！？）リクエストがありました。3回転ばっちり回ってくれました！病院訪問は初めてとのことでしたが、「たくさんの方に歓迎してもらって2時間があっという間でした。とても楽しかったです」とのコメントをいただきました。試合のメダル、オリンピック時のコスチュームやスケート靴も持参で、どうぞさわっていいですよと言って下さったので、病棟の子どもたちは、本物のメダルや！重いなあ～ス



ケート靴の刃ってこんななんや！オリンピックの時の服やで！と言ってさわったり、メダルを首にかけたり、抱っこしてもらって一緒に写真をとったりと、皆さん世界の第一線で活躍中の織田選手から多くの元気をわけてもらったと思います。またお母さんがスケートのコーチをされている織田チーム所属の子供たちが母子センターの患者さん達のために千羽鶴を折ってくれ、それも一緒に届けていただきました。

織田選手とお母さん、お忙しい中、当センターに来ていただきまして本当にありがとうございました。センター一同、今後のご活躍を心より応援しております。



府民公開講座 II 第6回光明池セミナー

9月25日（土）には、当センターと羽曳野支援学校母子医療センター分教室との共催で、第6回光明池セミナーを開催しました。

今回のテーマは、「こどもの腎臓病—治療法の進歩と日常生活の注意点」で、里村診療局長（腎・代謝科部長）から腎疾患についての治療法の進歩と生活管理の考え方について、そのあと谷口管理栄養士から小児腎臓病の食事療法についてのお話がありました。分教室の先生からは入院している子どもたちが退院してから復学までのサポート体制のお話がありました。

学校の先生方をはじめとして、85人の地域の皆さまにご来場いただき、無事終了することができました。

なお、当センターでは、毎年2回さまざまなテーマで府民公開講座を開催しています。開催のお知らせは、広報誌「母と子のにわ」紙面上をはじめとして、当センターホームページ、センター内ポスター、近隣の広報誌、タウン誌等でお知らせします。





地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立
母子保健総合医療センター



〒594-1101
大阪府和泉市室堂町840

電話 0725-56-1220(代)
Fax 0725-56-5682

ホームページもご覧ください。
<http://www.mch.pref.osaka.jp>

いま研究所では —その2—

前号にひきつづき、病院のとなりにある研究所で行われている研究について御紹介します。

赤ちゃんや子どもさん、妊婦さんの病気にはさまざまなものがあります。研究所には全部で40人ほどの研究員や研究者の卵たちがいますが、いくつかのグループ（部門）に分かれて、さまざまな病気の原因や成り立ち、治療についての研究を担当しています。今回は、その中の一つのグループ、環境影響部門というところで行われている研究について紹介します。

赤ちゃんや子どもさんの病気のなかには、軟骨や骨の成長がうまくいかないために体が小さくなったり、骨が曲がったり折れやすくなったりする病気がたくさんあります。カルシウムや、リン、ビタミンDなどの栄養も、骨の成長に影響を与えます。環境影響部門では、細胞や動物を使って、軟骨や骨が成長するしくみや、病気の原因や成り立ちを研究しています。軟骨や骨の病気の中には、いまのところ治療法のない病気も多いのですが、病気の原因や成り立ちがわかることで、新しい治療法をみつけることができます。研究員やその卵たちは、「治らない病気」を「治せる病気」に変えるため、日々がんばっています。（研究所環境影響部門 道上敏美）

センターからのお知らせ

病院ボランティア募集中

あなたも母子医療センターで
ボランティアをしてみませんか。
興味のある方は
下記までお問い合わせ下さい。

ボランティアコーディネーター
土田
0725-56-1220（内線2009）

大阪府立母子保健総合医療センター 基本理念

1. 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
2. 患者さん中心の、相互信頼の立場に立った、質の高い医療を行います。
3. 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
4. 母子に関する疾病の原因解明や、先進医療の開発研究を進めます。

ボランティアバザーのお知らせ



チャリティーバザー

日時：11月7日（日）
10：00～15：00

場所：大阪府立母子保健総合医療センター
研究棟 大会議室

● ご提供品受付期間
10月12日（火）～11月5日（金）

● 希望する品物
・贈答品などの日用品全般
・手作り品
・不要になった子供服・玩具
（なるべく美品・ぬいぐるみを除く）

● お問い合わせ及びご提供品受付

主催：大阪府立母子保健総合医療センター
ボランティア会 バザー実行委員会
受付時間：9：30～14：00（土日祝を除く）
電話：0725-56-1220 内線（2009）
PHS（7559）

